

伊良原の地名と地誌

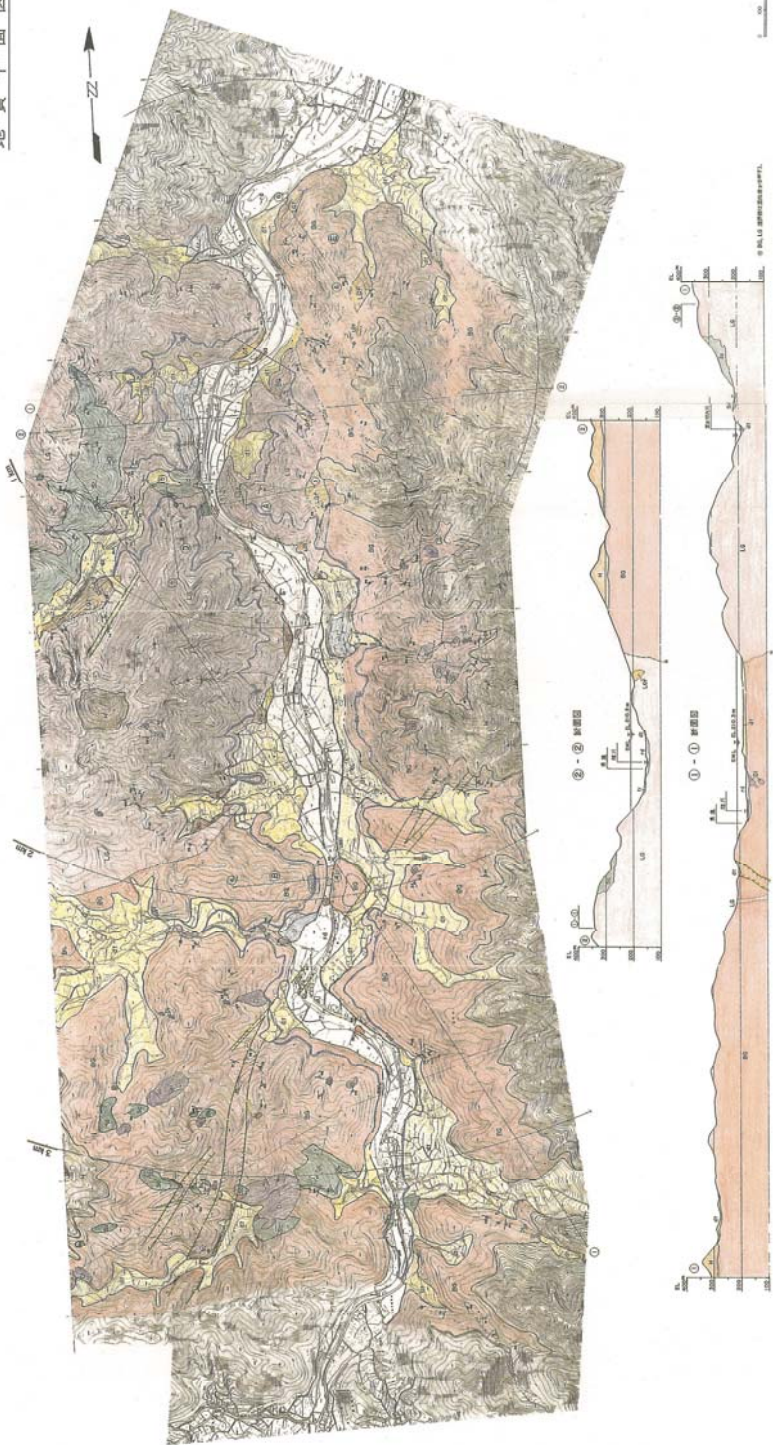
服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授 : 日本史

松原, 孝俊
九州大学韓国研究センター : 教授

<https://hdl.handle.net/2324/17967>

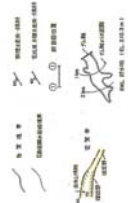
出版情報 : 伊良原 : 民俗文化財の調査. 143, pp.177-262, 1999-03-31. 福岡県教育委員会
バージョン :
権利関係 :

地質平面図



凡例

地質時代	地質	記号	記載
第四紀	懸崖堆積物	cl	花崗岩を主体とする角礫および粘粒土より成る。安山岩・粗晶が母の孔隙、砂より成る。河床部に分布する。
	河床堆積物	rd	花崗岩・安山岩・粗晶が母の孔隙、砂より成る。河床部に分布する。
	段丘堆積物	tr	花崗岩・安山岩・粗晶が母の孔隙、砂より成る。河床部の正帯(50-500m)の段丘に分布する。
第三紀	火山岩類	H	安山岩質閃輝石岩を主体とし、安山岩質凝灰岩・凝灰岩より成る。
	偉白質花崗岩(細粒)	LG1	細粒で輝石が顕著を呈する。黄色気味を主体とし、黒雲母・白雲母をわずかに含む。
中生代 白亜紀	偉白質花崗岩	LG	半硬で輝石が顕著を呈する。黄色気味を主体とし、黒雲母・白雲母をわずかに含む。
	黒雲母花崗岩	CG	細粒・中粒・比較的大量の黒雲母が散在する。角閃石も含まれる。
	閃輝石岩	D1	閃輝石から成る。細粒・中粒である。黄色気味を呈し、黒雲母・角閃石より成る。
古生代	三郡変成岩類	Sc	花崗岩中に侵入して分布する粘粒片岩であるが、本マップでは示していない。片岩が認められる。



付図7 伊良原地区地質分類図(1/20,000)

(「平成2年度伊良原ダム地質調査委託工事報告書」福岡県行橋土木事務所 1991 所収図を一部改変)